
全国市長会 週報 = JACM WEEKLY NEWS =

第 778 号 平成 18 年 3 月 13 日発行

も く じ

トピックス	1
「介護保険制度の被保険者・受給者範囲に関する有識者会議」の 初会合に喜多・守口市長が出席 まちづくり国際シンポジウム「参加型まちづくりと地域資金」を 開催 新たに 1 市が誕生	
全国市長会 先週の動き	2
国の会議等の動き	3
市長の選挙	3
市長の退任	4
全国市長会からのお知らせ	4
全国都市数	5

トピックス

「介護保険制度の被保険者・受給者範囲に関する有識者会議」の 初会合に喜多・守口市長が出席

3月6日、厚生労働省の標記有識者会議（座長：京極・国立社会保障・人口問題研究所所長）の初会合が開催された。

この有識者会議は、改正介護保険法附則第2条第1項の規定を踏まえ、「介護保険制度の被保険者及び受給者の範囲の在り方」に関する基本的課題等を検討するため、厚生労働省老健局長、社会・援護局長、障害保健福祉部長の私的会議として設置され、平成18年度中の意見のとりまとめを目指している。

本会から委員として喜多・守口市長（本会介護保険対策特別委員長）が出席し、現行の介護保険制度の実態を把握し、国民の理解を得られるよう議論するべきであるなどの発言を行った。

[社会文教部]

まちづくり国際シンポジウム「参加型まちづくりと地域資金」を

開催

3月8日(水)、全国都市会館において、全国市長会、東京大学先端まちづくり学校共催により、**まちづくり国際シンポジウム「参加型まちづくりと地域資金 都市自治体の役割と課題」**を開催し、市のまちづくり関係者等約250名が出席した。

今回のシンポジウムでは、米国のジャーナリストで都市評論家のグラッツ(Roberta Brandes Gratz)氏から「都市の再建設と都市再生」と題する基調講演、千葉光行・市川市長の「市川市における市民活動団体支援制度の経験と展望」と題する講義、ハンガリーのパーセント法を実践し、NPO組織を支援しているチーラ(Csilla Vincze)氏から「ハンガリーにおけるパーセント法の実践」と題する講義、亀井利克・名張市長から「名張市ゆめづくり地域予算制度の経験と展望」と題する講義等があった。

さらに、「市民が支えるまちづくりと都市自治体 持続するまちづくりを目指して」と題して、総括ディスカッションを行った。コーディネーターは東京大学先端科学技術研究センターの大西隆・教授がつとめ、パネリストの土屋侯保・大和市長(経済委員会副委員長)、千葉光行・市川市長、内閣官房都市再生本部の澤井英一・事務局長、NPO玉川まちづくりハウス運営委員の林泰義氏、グラッツ氏、チーラ氏、さらにはシンポジウム参加者とによるまちづくりへの核心に迫る活発な議論が展開された。

[経済部]

新たに1市が誕生

平成18年3月13日に1市が市制施行しましたので、ご紹介いたします。
新市の誕生により、平成18年3月13日現在の会員数は790(767市、23区)となります。

(詳細は、本会HP参照)

【平成18年3月13日市制施行】

鹿児島県出水市(いずみし)

人口 57,908人(平成17年国勢調査速報)

面積 330.06平方キロメートル

旧3市町 出水市、高尾野町、野田町

[総務部]

全国市長会 先週の動き 3月6日 - 3月12日

3月7日(火)

「第4回新地方分権構想検討委員会」を開催。「分権社会を実現するための取組み」

について議論。委員からは、国の政策決定プロセスへの参画、国と地方の役割分担の明確化、地方財政計画、地方交付税のあり方、税財政面での自治、分権等についての意見が出された。

(詳細は、「新地方分権構想検討委員会」HPに掲載)

[財政部]

国の会議等の動き

[3月6日 - 3月12日]

3月7日(火)

「地方公務員の給与のあり方に関する研究会(第19回)」が開催され、最終報告(原案)について協議した。次回研究会において、最終報告を取りまとめる予定。

[行政部]

3月9日(木)

「社会保障審議会介護給付費分科会」が開催され、療養病床の再編成等について協議を行った。本会から委員として喜多・守口市長(本会介護保険対策特別委員長)が出席し、療養型病床群については、医療部分と介護部分を整理するべく議論を重ねる必要がある、などの発言を行った。

[社会文教部]

3月10日(金)

「税制調査会第40回総会・第49回基礎問題小委員会合同会議」が開催され、厚生労働省から「社会保障制度について」、小塩隆士・神戸大学大学院経済学研究科教授から「人口減少時代の社会保障改革について」それぞれ説明があり、その後、自由討議が行われた。

本会からは委員の佐竹・秋田市長が出席した。

[財政部]

市長の選挙

(選挙日)	(市名)	(市長名)	(ふりがな)	(当選回数)
3月12日	栃木県大田原市	千保一夫		五選
3月12日	宮崎県えびの市	宮崎道公		再選
3月19日	富山県氷見市	堂故茂		三選(3月12日無投票)
3月19日	兵庫県洲本市	柳実郎	やなぎじつろう	新任(3月19日就任 3月12日無投票)

注) 新任の日付は、任期起算日であります。

新任市長名につきましては、字体の変更がある場合もあります。

[総務部]

市長の退任

(退 任 日)	(市 名)	(市 長 名)
3 月 8 日	東 京 都 町 田 市	寺 田 和 雄
3 月 9 日	北 海 道 留 萌 市	長 沼 憲 彦
3 月 12 日	福 井 県 福 井 市	酒 井 哲 夫
3 月 12 日	鹿 児 島 県 出 水 市	渋 谷 俊 彦

[総務部]

全国市長会からのお知らせ

「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」の実施



「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」の創設

美しい日本、持続可能な社会をめざして

全国の町村にも働きかけ、
私たちの心を荒廃させる
不法投棄を許さない、
「美しい日本」をめざそう。

不法投棄を根絶するための
市民運動へと発展させよう。

美しい日本を子供たちに伝えるため、
「ごみ不法投棄監視ウィーク」を設け、
全国の市で一斉に行動を起そう。

2006年
全国市長会

標語

「美しい日本」をめざそう
—私たちの心を荒廃させる不法投棄は許さない—

期間

6月の環境月間における一週間を
「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」として
設定し、実施しよう。

内容

緊急撤去事業、不法投棄監視パトロール、
ポスターやチラシなどによる普及・啓発、
またはそれに類する事業など、
各市において不法投棄対策及び関連する事業として
体系づけられている事業のうち、
上記の期間内に実施可能な事業について、
期間にあわせて、集中的に実施しよう。

広報

市の広報などを利用してお知らせするなどにより、
広く市民の皆さんの理解と参加をいただきながら、
実施しよう。

(詳細は、本会HPメンバーズページに掲載)

全国都市数 平成 18 年 3 月 13 日現在

= 790 都市 =	
政令指定都市	14
中核市	37
特例市	39
一般市	677
特別区	23

[調査広報部]

【 発 行 】
全国市長会 調査広報部
〒102-8635 東京都千代田区平河町 2-4-2

TEL:03-3262-2316 FAX:03-3263-5483

ホームページ：<http://www.mayors.or.jp>

内容・記事に対するお問合せ先メール：shuhou@mayors.or.jp

「週報」の情報は全国市長会HPメンバーズページでもご覧いただけます。
